

# 環境市民厚生常任委員会

日 時 令和3年10月13日(水) 午前10時00分～  
場 所 全員協議会室

---

## 1 開 議

## 2 行政報告

### 【健康福祉部】

(1) 新型コロナワクチン接種状況等について

## 3 その他

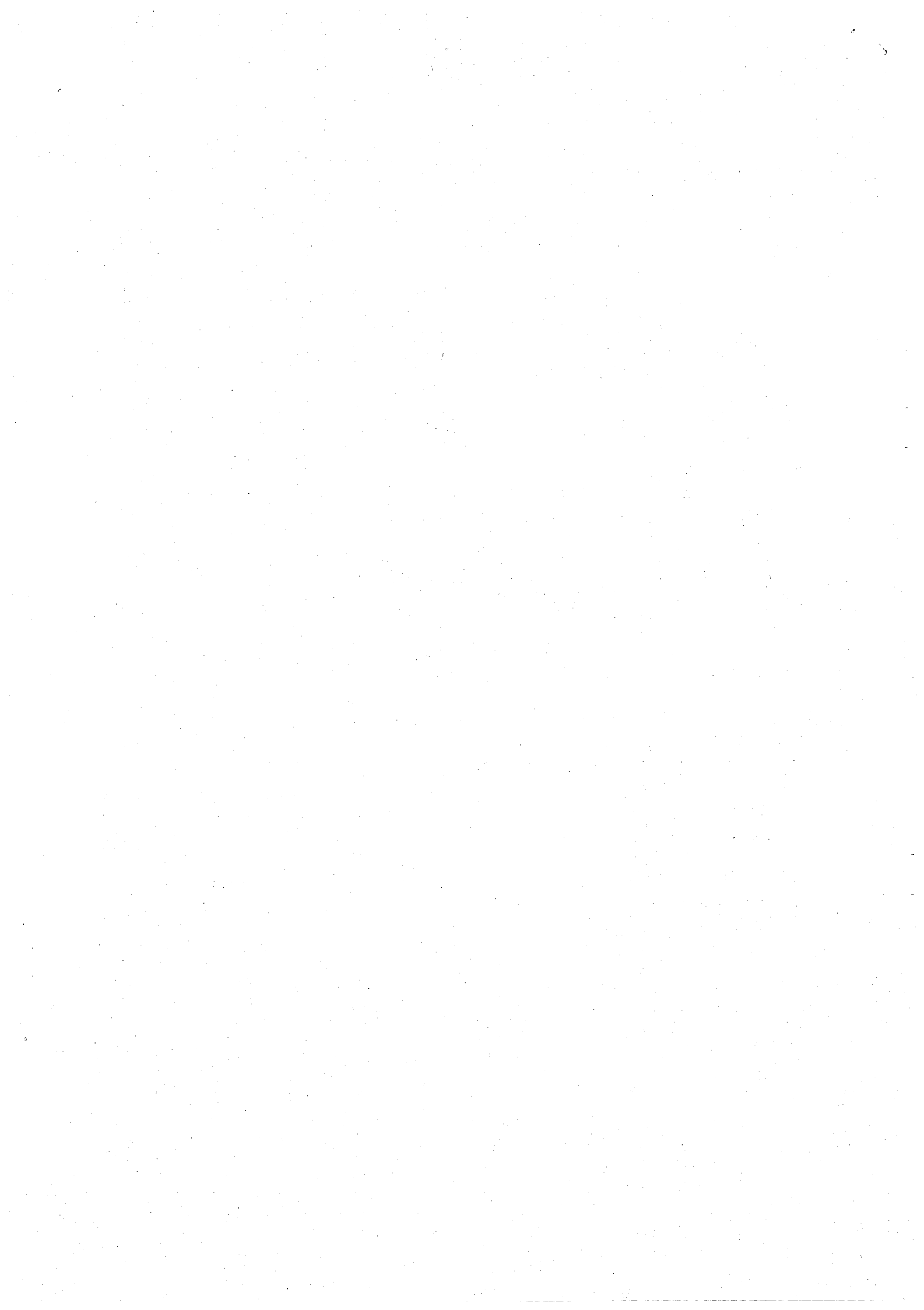


令和3年10月13日  
環境市民厚生常任委員会

## － 提出資料 －

### 1 新型コロナウイルスワクチン接種状況等について

健康福祉部



令和3年10月13日

## 新型コロナウイルスワクチン接種状況等について

### 1 ワクチン供給状況について

- 1) 入荷状況  
 令和3年4月23日～10月8日 入荷量  
 16,098バイアル (95,700回分)  
 ※5月22日入荷分から6回接種用の針・シリンジを使用、それまでは5回接種用を使用
- 2) 今後入荷予定数量  
 902バイアル (5,412回分)
- 3) 在庫状況  
 10月11日時点 1,987バイアル (11,922回分)

### 2 接種の状況

#### 1) 接種実績 (VRS より)

R3.10.11 現在(速報値)	1回目	2回目	合計
65歳以上高齢者 (接種率)	24,689人 (93.05%)	24,286人 (91.53%)	48,975人
65歳未満 (接種率)	35,561人 (67.21%)	27,551人 (52.07%)	63,112人
年齢不詳	360人	205人	565人
合計 (接種率 接種対象者比) [接種率 総人口比]	60,610人 (76.29%) [68.99%]	52,042人 (65.51%) [59.24%]	112,652人 (70.90%) [64.12%]

※R3.1.1住基人口 (総人口 87,847人、12-64歳 52,909人、65歳以上 26,533人)

#### 2) 優先接種の状況 (Vsys より R3.10.11 現在)

種 別	1回目	2回目	合計
医療従事者	2,358	2,215	4,573
基礎疾患保有者	2,279	1,782	4,061
高齢者施設等従事者	1,128	844	1,972
計	5,765	4,841	10,606

#### 3) 集団接種の状況

5月	日曜日	3回	780
	土曜日	4回	2,264
6月	土曜日	4回	1,192
	月曜日	2回	246
7月	日曜日	4回	1,770
	土曜日	5回	1,528
	月曜日	4回	504
8月	日曜日	5回	2,698
	土曜日	4回	1,218

9月	日曜日	4回	3,170
	土曜日	4回	1,833
10月	日曜日	2回/5回	1,932
	土曜日	2回/5回	1,012
11月	日曜日	0回/3回	-
	土曜日	0回/2回	-
合計		47回/58回	20,147

※土日曜日は、運動公園小体育館、月曜日は保健センターで実施

4) 個別接種等状況 (VRS より R3.10.11 現在)

R3.10.11 現在	接種者数
市内診療所計	34,768
5 病院計	27,008
合計	61,776

大規模会場・職域接種	接種者数
サンガスタジアム	10,007
その他職域接種等	9,495
合計	19,502

3 10月・11月の集団接種予約状況

(R3.10.8 現在)

	65歳以上	60~64歳	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	10歳代	合計
10月16日	9	16	72	90	110	74	146	517
10月31日	15	59	136	193	204	173	198	978
11月7日	19	49	153	204	208	136	190	959
合計	43	124	361	487	522	383	534	2,454

4 その他

1) コールセンター受付件数 (直近2週間の件数)

9月				10月					
27日	28日	29日	30日	1日	4日	5日	6日	7日	8日
86	101	68	75	61	81	48	37	47	51

2) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書 発行件数

7月	8月	9月	10月	計
17件	35件	90件	15件	157件

※集計期間は7月26日~10月11日まで

3) 携帯版予防接種済証 申請件数

8月	9月	10月	計
157件	749件	181件	1,087件

※集計期間は8月30日~10月11日まで

地方都市におけるひきこもりに対する実効性ある支援と対策を  
求める意見書（案）

従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされてきている。

政府が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査が、昨年3月に公表されたが、40～64歳の引きこもりが全国で約61万人にのぼるという推計は社会に大きな衝撃を与えた。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者となった親と共に社会的に孤立するケースも少なくない。

政府としては、これまで都道府県・政令市への事業充実を行ってきたが、今後は、地方においてもより身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実、就労支援など、就職氷河期世代を含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。あわせて教育現場においても人権の尊重と個人の人格を大切にする取組を通して、引きこもりを未然に防ぐ取組が必要である。

ついては、国におかれては、ひきこもりは、個人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受け止めるべき大変重要な課題と捉え、省庁横断的に下記事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

- 1 ひきこもり状態にある者に適した支援の充実を図るため、地方都市による「ひきこもりサポート事業」の強化に向けて財政支援の更なる充実を図ること。
- 2 より身近な場所での相談支援を行うため、同行相談や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチ支援を強化できる財政支援を充実させると共に、就労につなげるための経済分野など省庁横断的取組を行うこと。
- 3 「8050問題」など世帯の複合的なニーズや生活環境の変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援を行っている中で、更に充実した仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣  
内閣官房長官

宛

亀岡市議会議員 福井 英昭

